

創立75周年文化財保存修復学会第30回記念大会記念行事
学術講演会「市民アカデミー」

文化財保存修復学会第30回記念大会を記念して、市民とともに「文化財の保存と修復」についての分かち合いを目指し、地元市民への一般公開学術講演会を実施いたします。

記念講演は、かけがえのない文化遺産を優れた技などを駆使して最前線の現場で守り伝え、特に業績を挙げた人たちを顕彰する読売新聞社「あをによし賞」（文化財保存修復学会特別協力）の第1回受賞者である（財）文化財虫害研究所の50年にわたる取り組みについての発表です。また、文化財保存の最前線で活躍する本学会会員による多岐にわたる研究成果もご紹介いたします。

講演会終了後は、講演者と参加者の皆様そして学会員との文化財保存を巡る交流を目指し懇親会を開催いたしますので、あわせてのご参加をお待ちいたします。

【日時】 2008年5月16日（金） 14：00～17：30（開場13：30）

【場所】 九州国立博物館ミュージアムホール（1F）

【主催】 文化財保存修復学会第30回記念大会実行委員会
実行委員長 井上保廣（太宰府市長）

【共催】 太宰府市、九州国立博物館

【後援】 福岡県教育委員会、読売新聞大阪本社

【協賛】 太宰府天満宮

【定員】 300名（参加費無料）

※18時からの市民交流パーティー（懇親会）は会費制（会費：1000円）

【プログラム】

14:00～14:05 開会あいさつ

14:05～15:00 記念講演「文化財を守って50年」

田村正人（（財）文化財虫害研究所）

15:15～15:45 正倉院の宝物をまもる

成瀬正和（宮内庁正倉院事務所）

15:45～16:15 文化財の修理と紙

鈴木 裕（国宝修理装填師連盟）

16:25～16:55 大宰府の「顔」を語る

井形 進（九州歴史資料館）

16:55～17:25 中世の大宰府博多を科学で見る

朽津信明（東京文化財研究所）

17:25～17:30 閉会あいさつ

18:00～19:00 市民交流パーティー（懇親会）

※プログラムの内容は一部変更になる場合がございます